

マーケットの動き（2025年9月16日～9月19日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。週初は、国内株式市場が上昇し高値圏で推移したことから、安全資産とされる債券には売りが出ました。その後も、週末の日銀金融政策決定会合において政策金利は現状維持だったものの、2名の審議委員が利上げを主張したことで10月の利上げ観測が強まり、国内長期金利は上昇しました。クレジット市場は概ね横ばいの推移となりました。

投資環境見通し（2025年9月）

国内長期金利に対する上昇圧力は続く

米国景気の減速や原油価格の下落に加え、コメ価格の上昇一服など短期的な物価の上振れ要因が後退していますが、日銀は米国関税政策を巡る不確実性の後退を背景に、年内に利上げを行うとみられます。さらに今後は経済対策に関連して財政拡張的な議論が行われると予想されることもあり、国内長期金利に対する上昇圧力は続くとみています。

	9月19日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	1.62	0.04	0.03	0.11	0.78
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	343.47	▲0.12%	▲0.16%	▲1.28%	▲5.18%

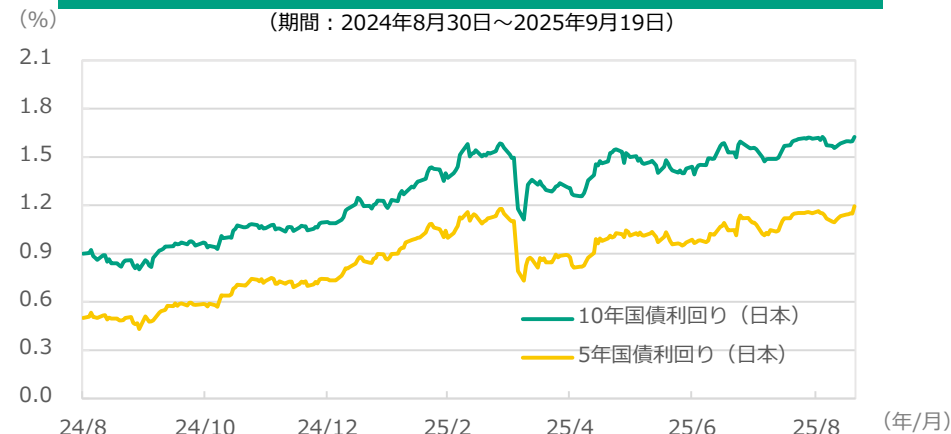
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202509_outlook.pdf

日本国債利回りの推移

（期間：2024年8月30日～2025年9月19日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2024年8月30日～2025年9月19日）



※2024年8月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>